

1. 授業のねらい・概要

日本国民として知っておかなければならない国民の権利・義務や国の基本的な統治形態について理解することを目標とします。初めて見る用語が多いかもしれませんが、できるだけ分かり易く説明します。

日本国憲法では、国民に主権があることや天皇制の仕組、国会や内閣、裁判所の構成など、日本の統治形態について規定しています。また、思想及び良心の自由や宗教の自由、表現の自由、学問の自由など、人間として必ず知っておかなければならない基本的人権についても規定しています。

最近、問題になっている憲法改正や天皇の摂政制度、自衛隊の海外派遣、平成 21 年から開始された裁判員制度などについても、できるだけ分かりやすく解説します。

2. 授業の進め方

- ① 50～60 分 配布するレジュメに従って、説明をしながら講義を行います。基本的には、憲法の第 1 章「天皇」から第 11 章「補則」まで、重要事項について順番に説明します。
- ② 30～40 分 配布する練習問題に回答してもらいます。また、質問を受け付けます。

3. 授業計画

1. 講義紹介	9. 社会権
2. 憲法とは	10. 財産権
3. 国民主権と天皇制	11. 参政権
4. 戦争放棄	12. 国会
5. 第 9 条関係 DVD	13. 内閣
6. 憲法の主体	14. 裁判所
7. 基本的人権	15. 財政、地方自治・憲法改正など
8. 自由権	

4. 到達目標

- ① 国民の権利・義務や国の基本的な統治形態についての理解。
- ② 思想及び良心の自由や自由権などについての独自の価値観の形成。

5. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容

- ① 各講義の内容に関する参考文献の該当箇所を読んでくこと（30 分程度）。
- ② 各講義の内容に関するニュースを、新聞やインターネットなどで見た場合は、読んで概要を説明できるようにすること。

6. 成績評価の方法・基準

積極性 20%（受講態度など） ＋ 期末試験 80%（筆記試験）

A 80 点以上 B 70～79 点 C 60～69 点 D（不可）60 点未満

7. テキスト・参考文献

毎回、レジュメと練習問題を配布し、テキストは使用しませんので、特に購入する必要はありません。自習のための参考文献として下記のものを挙げます。

- ① 小嶋和司・大石真『憲法概観』（第 7 版）有斐閣双書 2011 年（1995 円）
- ② 木下智史・只野雅人『新コンメンタール憲法』日本評論社 2015 年（4860 円）

8. 受講上の留意事項

私語・態度不良など他の受講者の迷惑となる行為や、遅刻・中途退席などの目立つ受講者については、評価を減点又は受講を制限します。